

第54回日本ストーマ連絡協議会 議事録

※敬称略

日時：2023年7月25日(火) 17:30－18:30予定

場所：Zoom開催

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 コンパテック ジャパン株式会社

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 株式会社 ホリスター

参加予定者：JSSCR－幸田圭史、板橋道朗、靱山こずえ、山本由利子

JWOCM－紺家千津子、松原康美

JOA －木下静男

OAS －田代浩一、相田真(進行) 梅津靖明、秋葉晃子(議事) 合計 11名

1.活動報告

1)JSSCRより

板橋：昨今の大雨の被害が、関係各位の尽力により、大事に至らず。

災害以外のことも、話し合える場にしてみたいのではないかと。例えば、製品についてなど。

靱山：災害報告

本年は、地域で災害対策がとれるような各自のマニュアル作りに注力。

来年のJSSCRでは、東関東、北関東の災害対策にフォーカスしてのテーマを委員会企画で発表予定。

仙台でのJWOCM学術集会では、JSSCR、褥瘡学会の3学会での災害対策セッションが実施された。学会協働で広く地域の医療従事者に認知いただけるように活動していく予定。

排尿機能学会にも声をかけていきたい。

他学会との連携を強化する必要があると思う。(JSSCR 板橋)

もちろん、ストーマ連絡協議会の存在の認知拡大も重要であり、引き続き活動する。

2)JWOCMより

紺家：日本災害看護学会の年次集会の際に、JWOCMに『大規模災害時に要配慮者を支える学会間連携（トークンセッション）』に登壇の依頼あり。

登壇する学会は、日本老年看護学会、日本地域看護学会が予定されており、看護系学会でも災害時の連携が注目されている。

3)JOAより

木下：5月5日 能登地震、7月7日からの豪雨（水害）あったが、JOA会員に関しては、装具の持ち出し不可だった方はなし。

6月18日（日）第35回全国大会 於：中野サンプラザ 100名参加 役員改選あり、会長副会長は再任。

JOAとしての課題は、会員が6,000人を切っている。（手帳交付数22万人にたいし）

次世代育成が急務。

自身も在籍する千葉県支部においては、障がい者権利の拡大のため、自治体への働きかけを強化。

4)OASより

田代：6月24日 八神製作所のオストメイト会にて災害時の対応プレゼン(Zoom開催)

7月15日 奈良県橿原市にある「かしはら安心パーク」にて奈良県防災会議に参加。

7月29日 九州リハビリテーション研究会(鹿児島県)のセッションに参加予定

今年度はすでに4回、災害救助法が発令されているが、7月7日からの豪雨で初めて無償提供の実施。(7/25現在、6名のストーマ保有者へ提供)

秋田県の販売店のクロスウイル様が、オストメイトから連絡を受け、OAS会員各社へ連絡あり。

- 災害時の手引きは、オストメイト自身はどれだけ認知があるのか？（JSSCR 板橋）
販売店経由でオストメイトから連絡というケースが多いのではないか？
オストメイトの個人情報や装具、装具購入状況などを一番把握しているのは、販売店。
医療従事者経由での連絡網と販売店との連携も進めているが、今後も改善継続。
（JSSCR 靄山）
JOAとしては、行政への補償拡大の働きかけを継続していく。（JOA 木下）
- 給付対象製品の拡大について（JSSCR 靄山）
給付実態の調査を行ったが、自治体に認知されないと、話が進まない。
自治体により、対象製品にばらつきあり。
JOAとしても協働して、品目拡大を目指していきたい。（JOA 木下）
- JOA香川県支部がない、ということだが？（JSSCR 山本）
香川のNPO法人としてもサポートしていきたい。
香川県と山梨県には、現在支部なし。ぜひ協力を賜りたい。（JOA 木下）
- 次回開催：第55回日本ストーマ連絡協議会
2023年11月28日(火) 17:30～、WEB開催(予定)

以上